

患者さんの“気づき”を高めるヒント



～ 健康な時ほど大切 ～

医療者と患者さんとの良好な関係づくりは、患者さんの満足度を高め、治療方針の決定においてとても大切です。そのためには、患者さんが健康な時から医療への関心を持ち、医療者に伝えるべき事を意識・整理しておくことが大きなカギとなります

～ 伝えて・分かり合う ～

患者さん(「患者」になる可能性のある全ての人)にとって、医療者へ何を伝える必要があるのか、受診に備えた日々の心構え等を下記『あなたが伝える患者情報8カ条』としてひな型を作成しました。この8カ条を患者さんが受け入れることによって、患者さん自身の健康情報管理とコミュニケーション力が良くなり、患者さんからの適切な情報提供は、患者さんの満足度向上や、医療効率の改善につながることを期待できるでしょう

～ 患者さんと一緒に ～

私たちの『8カ条』をひな型としてご利用いただき、皆さんの医療機関でも、それぞれの『〇カ条』を皆さんの患者さんと一緒に多くの方に広めていただくことを提案します

あなたが伝える患者情報8カ条

- あなたの情報提供が、医療者との相互信頼・協力体制をつくります！
- 医療の未来を築く大切な宝は、あなた自身が持っているのです！

- 【1、情報収集】 **体調変化に備えて、適切な相談機関を調べておきましょう**
- 【2、心構え】 **初診は「お見合い」、十分な準備で臨みましょう**
- 【3、ありのまま】 **正しい診断や相互の信頼関係をつくるには正直な報告から**
- 【4、納得】 **分からないことは遠慮無く質問を、セカンドオピニオンの利用も**
- 【5、ライフスタイル】 **あなたの性格、仕事、家族、住居の情報も、重要な診断要素です**
- 【6、感想文】 **良かった点と改善点の感想文提出を、それは退院時のエチケット**
- 【7、寄り添い】 **慢性病ではあなたも主治医、医療者と二人三脚の取り組みで**
- 【8、意思表示】 **もしもの時に備え、あなたの意思を周囲の人に
知らせておきましょう**

「クリニックITフォーラム2013/待合室から医療を変えようプロジェクト資料」

医療政策実践コミュニティー(Health Policy Action Community : H-PAC)「8カ条班」有志
連絡先 hachikajyo@yahoogroups.jp, 提言書 <http://h-pac.net/report2.html>